

経 由

議 長



政務活動費交付請求書

2025年5月31日

四日市市長

会 派 名 新風創志会

代表者氏名 谷口周司



四日市市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第4条第1項の規定に基づき、
2025年5月分政務活動費の交付を次のとおり請求します。

1 請 求 額 162,652 円

2. 政務活動費の対象となる経費

区 分	金 額	備 考
調 査 研 究 費	126,960	
研 修 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費	35,692	
合 計	162,652	

※概算払・前金払がある場合は、備考にその別を記載すること。



経 理 責 任 者

山田知美

内 訳 明 細

令和7年 5月分
No. 2

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費	63,480円	調査研究費
研 修 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費		
合 計	63,480円	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

石川 善己

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	新風創志会							
参加者氏名	石川 善己							
用務先	京都市							
実施日	令和7年5月2日 (金)							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
5/2	近鉄 四日市 ~ 近鉄 丹波橋	165.1 KM	近鉄	2,560 円	1,640 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	近鉄 丹波橋 ~ 三条	8.0 KM	私鉄	280 円	円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	三条 ~ 近鉄 丹波橋	8.0 KM	私鉄	280 円	円	円	0 円	円
	近鉄 丹波橋 ~ 近鉄 四日市	165.1 KM	近鉄	2,560 円	1,640 円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
	~	KM		円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	~	KM		円	円	円	0 円	円
	~	KM		円	円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
	~	KM		円	円	円	(3泊目)	(3泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	~	KM		円	円	円	0 円	円
	~	KM		円	円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
小 計				5,680 円	3,280 円	0 円	0 円	0 円
合 計				8,960				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

R7年 5月20日

実施日時	R7年 5月 2日（金） 14時00分～15時30分
参加者氏名	石川善己・谷口周司・辻裕登
用務先	京都市役所
対応者	京都市都市計画局住宅室 住宅政策課 企画担当課長 神谷 宗宏 京都市都市計画局住宅室 住宅政策課 企画係長 太崎 弘晃
目的・内容	京都市安心すまい応援金 事業
成果・所感	<p>京都安心すまい応援金事業は、「結婚・子育て期の世代の市外流出の防止」、「既存住宅の流通の促進」を目的に令和6・7年度限定で予算化された事業。</p> <p>京都市は25歳～39歳とそれに伴っての0～4歳の転出が顕著で、子育て世代の就労問題とその家族の転出が要因だと分析されていた。</p> <p>その課題解決策として、子育て世帯の市内での既存住宅の購入をあと押しする為の応援金制度を創設したとの事。</p> <p>令和6年度の事前申し込み受付完了数が309件で、二年間の想定560件を大幅に上回り、予算拡充後800件にのぼる。</p> <p>○未就学のこどもがいる、○築5年以上かつ購入価格が税抜500万円以上の既存住宅を自己居住用として購入、○購入後に市内事業者が施工するリフォーム工事を実施、を基本要件とし、すべて満たせば100万円交付。</p> <p>加算要件が①子どもが2人以上いる世帯、②市外からの転入、③地域限定（建築基準法以前の建物の圧倒的に多い地区）となっており、1項目あたり50万円、最大で2項目100万円の加算がある。</p> <p>又、他のリフォーム補助が併用可能で、連携金融機関の住宅ローンをお得に利用できることもメリットに繋がっている。</p> <p>政令市においても子育て世代の流出や人口減少が大きな課題になっていることを改めて痛感した次第。</p> <p>20～30年後、大工不足と相まって新築住宅の供給減が予測されている中、早い段階から子育て世帯を見据えてのリフォーム物件の活用に重点を置いた施策は非常に有効であると感じた。</p> <p>金融機関との連携が取れている事も大きなポイントだと思われる。</p> <p>本市においても、中古物件を対象にした子育て世代への活用促進策は大変重要であると感じるので、参考にしつつ有効な支援策を考える上での参考にしたい。</p>

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名		新風創志会						
参加者氏名		石川 善己						
用務先		塩釜市、多賀城市						
実施日		令和7年5月26日 (月) ~ 令和7年5月27日 (火)						
目 的		視察						
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
5/26	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	名古屋 ~ 東京	366.0 KM	JR	19,200 円	4,920 円	円	朝食付	宮城県
	東京 ~ 仙台	351.8 KM	JR	↓ 円	5,360 円	円	1,600 円	10600 円
	仙台 ~ 本塩釜	15.5 KM	JR	↓ 円	円	円		【上限額】
5/27	本塩釜 ~ 多賀城	3.4 KM	JR	↓ 円	円	円		(14,000 円)
	多賀城 ~ 仙台	12.1 KM	JR	↓ 円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	仙台 ~ 東京	351.8 KM	JR	↓ 円	5,360 円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	↓ 円	4,920 円	円	0 円	円
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
	~	KM		円	円	円	(3泊目)	(3泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	~	KM		円	円	円	0 円	円
	~	KM		円	円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
小 計				20,720 円	21,600 円	0 円	1,600 円	10,600 円
合 計				54,520				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

領 収 書

No. 001272528 精-01 25/05/26
登録番号: T1010901015937

[予約]
部屋番号 821

ご滞在期間 2025/05/26~2025/05/27
ご利用日 2025/05/26

お名前

伊藤 様

ご請求額 10,600円
ご入金額 10,600円(クレジット)

上記金額をクレジットにて領収致しました

ご利用明細

室料(1泊分)	12,100円
クーポン等	-1,500円
(10%税込対象合計)	10,600円
(内消費税)	963円
総合計	10,600円

*は軽減税率対象商品

ごゆっくりお過ごしください

リッチモンドホテルプレミア仙台駅前

TEL 022-716-2855

〒980-0021

宮城県仙台市青葉区中央2-1

本店: 東京都世田谷区桜新町1-34-6

印紙税申告納

付につき玉川

税務署承認済

クレジットカードご利用明細

カード会社
ご利用日: 2025/05/26
会員番号
有効期限
お支払方法: 一括払
承認番号: 0700542
伝票番号: 542

AID: A000000025010402

AEIPS

カード会員名: YOSHIKI/ISHIKAWA

ご利用金額: 10,600円

リッチモンドホテルプレミア仙台駅前

TEL 022-716-2855

〒980-0021

メール作成

返信 移動 削除 報告 印刷 その他

Q じゃらん

← 戻る

📧 ↓ ↑

C [Redacted]

メールボックス

📧 受信箱 8074

☆ スター付き

📄 下書き

➤ 送信済み

📧 迷惑メール 112

🗑️ ゴミ箱

個人フォルダー

📄 Deleted Messages

📄 Drafts

📄 Notes

📄 Sent Messages

From リッチモンドホテルプレミア仙台駅前 (じゃらん...)

認証 このメールの認証情報
このメールは送信ドメイン認証が正しいことをYahoo!メールが確認済みです

リッチモンドホテルプレミア仙台駅前予約確認

☆ 2025/05/26 月曜日 11:55

※本メールは、自動的に配信しています。
こちらのメールは送信専用のため、直接ご返信いただいてもお問い合わせにはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

このたびは、リッチモンドホテルプレミア仙台駅前をご予約いただき誠にありがとうございます。
ご予約いただいた内容をお知らせします。

宿泊施設の所在地・連絡先をご確認ください。

このメールを印刷してご持参いただくことをお勧めします。
印刷時は、内容が途切れないように印刷設定にご注意ください。

予約受付日時：2025年05月26日11:55

予約番号：0MLATY6L
宿泊代表者氏名：石川 よしき 様
宿名：リッチモンドホテルプレミア仙台駅前
電話番号：022-716-2855
所在地：〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央2-1-1 仙台東宝ビル5F
チェックイン日時：2025年05月26日(月) 18:00
宿泊日数：1泊
チェックアウト日時：2025年05月27日(火) ~11:00
部屋タイプ：◆【喫煙】 モデレートシングル (18平米)
部屋数：1室

プラン名：【朝食付き】 社の都仙台を楽しもう!ベーシックステイ~フリードリンク付き~
チェックイン可能時間：14:00~29:00

プラン内容：ビジネスやカップル旅行など様々な目的でご利用いただける当館人気のシンプルプラン!

【朝食について】

宮城県産のお米「ひとめぼれ」を使用した郷土料理「はらこ飯」や豊富なサラダbuffetなど、東北・仙台を感じていただける和洋ビュッフェをお楽しみいただけます。

営業時間：6：30~9：30最終入店

【ホテル詳細】

・アメニティー (歯ブラシ、カミソリ、ヘアブラシ、綿棒、ボディタオル) は、プラスチック資源循環対策により、お部屋には設置しておりません。
ロビーにご用意しておりますので、ご宿泊のお客様はご自由にお取りくださいませ。

- ・全室にミネラルウォーターをご用意
- ・全室映画チャンネル見放題

【5Fプレミアラウンジ/宿泊者のみ無料】

・12:00~23:00 フリードリンク (コーヒーやソフトドリンク等) & ソフトクリームサービス

・18:00~22:00 ウェルカムドリンクサービス (宿泊者限定)
ビール・日本酒・ワイン・ハイボール・レモンサワー・ノンアルコールより1滞在1杯無料でお召し上がりいただけます。*2杯目以降は有料*

・20:00~22:00 夜食サービス (宿泊者限定)

鴨そば (1日限定80食) をご用意しております。

【駐車場について】

ホテル専用の駐車場はございません。ご利用の際はホテルまでお問い合わせくださいませ。

【お子様の添い寝について】 ※添い寝のお子様分ベッドのご用意はございません。
ベッド1台に対して、小学生以下 (12歳以下) のお子様1名様まで添い寝無料です。

- ・モデレートルーム...お子様1名様まで
- ・プレシャスルーム...お子様1名様まで
- ・スーペリア/プレミアアツインルーム...お子様2名様まで
- ・スーペリアアツインルーム...お子様2名様まで

※大人2名様+お子様2名様の場合、「広告ゼロ」でYahoo!メールを利用したもしくはシングルルーム(154) 1いあなたへ

※大人1名様+お子様3名様の場合は、大人2名様で検索の上、ツインルームを

【新型】

日本

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

R7年 5月20日

実施日時	R7年 5月26日（月） 14時30分～16時00分
参加者氏名	石川善己・谷口周司・辻・裕登
用務先	塩竈市津波防災センター
対応者	塩竈市議会 参事兼事務局長 鈴木 忠一 塩竈市議会 次長兼議事調査係長 石垣 聡
目的・内容	塩竈市津波防災センター
成果・所感	<p>この津波防災センターは塩竈市復興交付金を活用した津波復興拠点整備事業として設立された施設で、津波などの災害時における避難場所や災害対策活動の拠点、塩竈市営汽船運休時の待機場所となる機能等を持つとともに、東日本大震災の体験や教訓を伝承し、市民の防災対策や避難に関する知識や意識を向上することを目的とした施設です。</p> <p>防災拠点施設（公益的施設）と津波避難デッキ（公共教施設）の側面を持ち、防災拠点施設としては、津波発生時に地区内生活者・来街者・離島生活者などの避難施設となる他離島への緊急援助物資輸送の中核施設としての機能を有する。また、来街者の安全を確保しながら速やかに帰還させる救助サポート機能を有しています。</p> <p>津波避難デッキは地区内生活者・来街者・通行車両の乗車・歩行者などの一時的に緊急避難させる施設となる他、ショッピングセンターや防災拠点施設に連結することにより、災害救援物資供給の運搬ルートとして、またマリゲート塩竈との連結により来訪者等の安全な避難・災害救援・補給を行い安全に帰還させる施設としての都市機能を有しています。</p> <p>発災からの7日間の記録として、発災から1週間、何が起き、何を求め、状況がどう変化したのか？日ごとの記録を残し、次の災害に備えるという視点が他とは違う点だと感じた。</p> <p>また総合防災訓練に併せ情報共有を行い、小中学生が防災訓練参加し、市民と一緒に避難所解説や避難所備品の使い方の確認をする取り組みを実施しているとの事で、小中学生と地域の高齢者との交流が日頃から大切であると実感する次第であった。</p> <p>塩竈市の説明で仰ってみえたが、市民それぞれの防災意識は高いものの塩竈市の考えとのすり合わせが大切だとの事。まさにその通りであると考える次第です。</p> <p>自助・共助・公助を正しく伝え、公助の比重のみが大きくなならないよう活動を続けていくことが重要だと感じた。</p>

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

R7年 5月20日

実施日時	R7年 5月27日（火） 10時00分～11時30分
参加者氏名	石川善己・谷口周司・辻・裕登
用務先	多賀城市立図書館
対応者	多賀城市教育委員会事務局 生涯学習課生涯学習係主事 佐藤崇晶 多賀城市教育委員会事務局 生涯学習課生涯学習係主事 佐藤佑哉
目的・内容	多賀城市立図書館
成果・所感	<p>多賀城市立図書館は旧館が昭和58年に開館された開架式図書館であったが、老朽化が進み手狭になってきた。場所もわかりづらく交通アクセスが悪く、利用者の固定化にも繋がっていたとの事。</p> <p>そんな中で、震災復興のシンボルとして、東北随一の文化交流拠点として市立図書館・市文化センター・史跡・文化財も3か所を交流拠点に位置付けての整備がなされた。</p> <p>直営での職員体制では図書館サービスの拡大は困難と判断し、更に高いサービスの提供とコスト削減、民間活力をノウハウ、スピード感と柔軟性のある対応等のメリットを鑑み、利用者視点によるサービス向上、誰もが行きたくなる環境づくり、居心地のよい空間と雰囲気づくりをベースとした合理的な運営の為に指定管理者による運営とすることにし、カルチュアコンビニエンスクラブ株式会社の指定管理で行う事となった。</p> <p>図書館と商業施設の併設型で、レストラン・シェアラウンジ・蔦屋書店・スターバックスとの連携により本の持ち込みOKというサービスなどを行っている。</p> <p>また、指定管理者制度導入により、開館日数1.3倍、開館時間2倍、収蔵能力1.9倍、フロア席6倍等々かなりのサービスの充実が進んだと考えられる。</p> <p>アンケートの結果においても総合満足度が「大いに満足」と「満足」を併せ82.7%となっており、居心地が良い、職員の対応が良い といった意見が多かったとのことであった。</p> <p>以上考えても、利用者（市民への）サービス向上は民間力の導入が大きな役割を果たすと考えられる。</p> <p>多くの図書館サービスを提供する団体があるなか、本市のサービス充実ターゲットをどこに置くか？まずはしっかりそこを作り上げていく事が大切であると感じた次第である。</p>

内 訳 明 細

令和7年 5月分 No. 3

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費	63,480	視察
研 修 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費		
合 計	63,480	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

谷口 周司

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	新風創志会							
参加者氏名	谷口 周司							
用務先	京都市							
実施日	令和7年5月2日 (金)							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
5/2	近鉄 四日市 ~ 近鉄 丹波橋	165.1 KM	近鉄	2,560 円	1,640 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	近鉄 丹波橋 ~ 三条	8.0 KM	私鉄	280 円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円
	三条 ~ 近鉄 丹波橋	8.0 KM	私鉄	280 円	円	円		【上限額】
	近鉄 丹波橋 ~ 近鉄 四日市	165.1 KM	近鉄	2,560 円	1,640 円	円		(0 円)
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円
	~	KM		円	円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円	(3泊目)	(3泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円
	~	KM		円	円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
	~	KM		円	円	円		
小 計				5,680 円	3,280 円	0 円	0 円	0 円
合 計				8,960				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

（ 調査研究、研修、要請・陳情活動、会議 ） 報告書

令和7年 5月 10日

実施日時	令和7年 5月 2日（木） 13時30分 ～ 15時00分
参加者氏名	谷口周司 石川善己 辻 裕登
用務先	京都市役所
対応者	京都市 都市計画局 住宅室 住宅政策課 企画担当課長 神谷宗宏 氏 企画係長 大崎弘晃 氏
目的・内容	<ul style="list-style-type: none">・「京都安心すまい応援金」について・導入の経緯背景について・現状の課題について
成果・所感	<p>今回は、京都市にお伺いをさせていただき、「京都安心すまい応援金」等について、学ばせていただきました。</p> <p>説明、対応していただいたのは、京都市の都市計画局住宅室住宅政策課企画担当課長：神谷宗宏氏、同企画係長：大崎弘晃氏にお世話になりました。とても熱心な説明で想いのこもった事業であることが認識でき、非常に有意義な時間となりました。</p> <p>「京都安心すまい応援金」は、京都市が若者や子育て世帯の定住促進と既存住宅の有効活用を目的として、2024年8月22日から開始した住宅取得支援制度です。この制度の背景や実施後の反響、課題について中心的に学ばせていただきました。</p> <p>その前に、事前資料として京都市の人口動態について説明を受けました。京都市の課題としては、近隣都市（大阪府・府南部・滋賀県）へ家族で転出している。その要因は、住宅事情、通勤、結婚など</p>

成 果 ・ 所 感

個人により様々であるが、結婚・子育て世代が求める条件に合った住宅の確保の難しさが大きく影響しているとデータからも推察されておりました。

【制度創設の背景と経緯】

京都市では、若者や子育て世帯の市外流出が深刻な課題となっており、特に子どもの就学前後に住宅取得を機に転出する傾向が見られる。これを受けて、松井孝治市長は「選ばれるまち京都」の実現を目指し、人口減少対策の一環として本制度を導入しました。制度は、未就学児（妊娠中を含む）がいる世帯が築5年以上・購入価格500万円以上の既存住宅を購入し、市内事業者によるリフォームを行う場合に、最大200万円の応援金を交付するものです。加えて、耐震改修や省エネ改修など他の補助金と組み合わせることで、最大920万円の支援が受けられる仕組みとなっています。

【実施後の反響と成果】

制度開始から2025年4月30日までに、令和6年度は309件、令和7年度は43件のエントリーがあるとのこと。京都市は十分な予算を確保しており、制度は継続的に利用可能です。また、住宅金融支援機構や京都信用金庫と連携し、住宅ローンの金利優遇や借入期間の延長（最大40年）など、経済的な支援体制も整備されています。

【課題と今後の展望】

制度の利用には、事前申出（エントリー）前にリフォーム契約や転居を行わないことが条件となっており、手続きのタイミングに注意が必要です。また、対象となる住宅が築5年以上・500万円以上の既存住宅に限定されているため、条件に合致する物件探しが課題となる可能性があります。今後は、制度の周知徹底や対象住宅の情報提供を強化し、より多くの子育て世帯が制度を活用できる環境づくりが求められます。

今回の視察を受けて特に感じたことは、「200万円」のインパクトであります。子育て世代にとってもこの数字は魅力的なものであり、効果は抜群だと感じました。あと、制度創設に至る背景、データ分析がしっかりとできていることも印象的でした。ぜひ本市四日市市でも活かしていければと思います。

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	新風創志会							
参加者氏名	谷口 周司							
用務先	塩釜市、多賀城市							
実施日	令和7年5月26日 (月) ~ 令和7年5月27日 (火)							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路 線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
5/26	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	名古屋 ~ 東京	366.0 KM	JR	19,200 円	4,920 円	円	朝食付	宮城県
	東京 ~ 仙台	351.8 KM	JR	↓ 円	5,360 円	円	1,600 円	10600 円
	仙台 ~ 本塩釜	15.5 KM	JR	↓ 円	円	円		【上限額】
5/27	本塩釜 ~ 多賀城	3.4 KM	JR	↓ 円	円	円		(14,000 円)
	多賀城 ~ 仙台	12.1 KM	JR	↓ 円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	仙台 ~ 東京	351.8 KM	JR	↓ 円	5,360 円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	↓ 円	4,920 円	円	0 円	円
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
	~	KM		円	円	円	(3泊目)	(3泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	~	KM		円	円	円	0 円	円
	~	KM		円	円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
小 計				20,720 円	21,600 円	0 円	1,600 円	10,600 円
合 計				54,520				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

領 収 書

No. 001272527 精-03 25/05/26
登録番号: T1010901015937

[フェイク]
部屋番号 1007

ご滞在期間 2025/05/26~2025/05/27
ご利用日 2025/05/26

お名前

タニグチシュウジ 様

ご請求額 10,600円
ご入金額 10,600円(クレジット)

上記金額をクレジットにて領収致しました

ご利用明細

室料 (1泊分)	12,100円
クーポン等	-1,500円
(10%税込 対象合計)	10,600円
(内消費税)	963円
総合計	10,600円

*は軽減税率対象商品

ごゆっくりお過ごしください

ご利用日: 2025/05/26
会員番号: [REDACTED]
有効期限: [REDACTED]
お支払方法: 一括払
承認番号: 0707516
伝票番号: 7516

AID: A0000000651010

J/Smart

カード会員名: SHUJI/TANIGUCHI

ご利用金額: 10,600円

リッチモンドホテルプレミア仙台駅前

TEL. 022-716-2855

〒980-0021

宮城県仙台市青葉区中央2-1-1

YAHOO!メール プレミアム 3pt 最大半額アプリクーポンプレゼント

メール

連絡先

受信箱 8074

【重要】より安全なログイン方法によるアクセスが必須となります

メール - カレンダー

メール作成

返信 移動 削除 報告 印刷 その他

Q じゃらん

戻る

共有 印刷 戻る

From リッチモンドホテルプレミア仙台駅前 (じゃらん...)

認証 このメールの認証情報
このメールは送信ドメイン認証が正しいことをYahoo!メールが確認済みです

リッチモンドホテルプレミア仙台駅前予約確認

☆ 2025/05/26 月曜 12:00

※本メールは、自動的に配信しています。
こちらのメールは送信専用のため、直接ご返信いただいてもお問い合わせにはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

このたびは、リッチモンドホテルプレミア仙台駅前をご予約いただき誠にありがとうございます。
ご予約いただいた内容をお知らせします。

宿泊施設の所在地・連絡先をご確認ください。

このメールを印刷してご持参いただくことをお勧めします。
印刷時は、内容が途切れないように印刷設定にご注意ください。

予約受付日時：2025年05月26日12:00

予約番号：0MLV08LR
宿泊代表者氏名：谷口 周司 様
宿名：リッチモンドホテルプレミア仙台駅前
電話番号：022-716-2855
所在地：〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央2-1-1 仙台東宝ビル5F
チェックイン日時：2025年05月26日 (月) 18:00
宿泊日数：1泊
チェックアウト日時：2025年05月27日 (火) ~11:00
部屋タイプ：◇【禁煙】 モデレートシングル (18平米)
部屋数：1室

プラン名：【朝食付き】 杜の都仙台を楽しもう♪ベーシックステイ〜フリードリンク付き〜
チェックイン可能時間：14:00~29:00

プラン内容：ビジネスやカップル旅行など様々な目的でご利用いただける当館人気のシングルプラン！

【朝食について】

宮城県産のお米「ひとめぼれ」を使用した郷土料理「はらこ飯」や豊富なサラダbuffetなど、東北・仙台を感じていただける和洋ビュッフェをお楽しみいただけます。

営業時間：6：30~9：30最終入店

【ホテル詳細】

・アメニティー (歯ブラシ、カミソリ、ヘアブラシ、綿棒、ボディタオル) は、プラスチック資源循環対策法により、お部屋には設置しておりません。ロビーをご用意しておりますので、ご宿泊のお客様はご自由にお取りくださいませ。

・全室にミネラルウォーターをご用意

・全室映画チャンネル見放題♪

【5Fプレミアラウンジ/宿泊者のみ無料】

・12:00~23:00 フリードリンク (コーヒーやソフトドリンク等) & ソフトクリームサービス

・18:00~22:00 ウェルカムドリンクサービス (宿泊者限定)

ビール・日本酒・ワイン・ハイボール・レモンサワー・ノンアルコールより1滞在1杯無料でお召し上がりいただけます。 ※2杯目以降は有料 ※

・20:00~22:00 夜食サービス (宿泊者限定)

鴨そば (1日限定80食) をご用意しております。

【駐車場について】

ホテル専用の駐車場はございません。ご利用の際はホテルまでお問い合わせくださいませ。

【お子様の添い寝について】 ※添い寝のお子様分ベッドのご用意はございません。
ベッド1台に対して、小学生以下 (12歳以下) のお子様1名様まで添い寝無料です。

・モデレートルーム...お子様1名様まで

・プレシャスルーム...お子様1名様まで

・スーベリアプレミアアツインルーム...お子様2名様まで

・スーベリアアツインルーム...お子様2名様まで

※大人2名様+お子様2名様の場合、「広告ゼロ」でYahoo!メールを利用したもしくはシングルルーム(154) いあなたへ

たします。
※大人1名様+お子様3名様の場合は、大人2名様で検索の上、ツインルームを

【NEW

日本

プライバシーポリシー

プライバシーセンター

利用規約・ガイドライン

特定商取引法の表示 - ヘルプ・お問い合わせ

© LY Corporation

（ 調査研究、研修、要請・陳情活動、会議 ） 報告書

令和7年 5月 29日

実 施 日 時	令和7年 5月 26日（月） 14時30分 ～ 16時00分
参 加 者 氏 名	谷口周司 石川善己 辻 裕登
用 務 先	塩竈市津波防災センター
対 応 者	塩竈市議会事務局 参事兼事務局長 鈴木忠一 氏 次長兼議事調査係長 (元市民安全課防災係長) 石垣 聡 氏
目 的 ・ 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災センターの概要と設立経緯について ・ 防災教育や展示内容について ・ 今後の課題、展望について
成 果 ・ 所 感	<p>今回は、塩釜市にお伺いをさせていただき、「塩竈市津波防災センター」について、学ばせていただきました。</p> <p>説明、対応していただいたのは、塩釜市の議会事務局長：鈴木忠一氏、同議事調査係長：石垣 聡氏にお世話になりました。石垣氏が元市民安全課防災係長であり、「津波防災センター」設立時の担当者であったことから、当時の状況等も踏まえお話を聞かせていただきました。とても熱心な説明であり、非常に有意義な時間となりました。</p> <p>まず、塩竈市津波防災センターでは「東日本大震災」発災後の1週間に焦点をあて、そのとき何が起き、人々が何を求め、状況はどのように変化していったのかを発生から7日間を中心に記録、展示がされています。この展示は、当時の状況を振り返ることを通して次の災害に備えることが目的とされています。</p>

成 果 ・ 所 感

今回の視察では、質問も多岐にわたることから、事前に質問事項をお送りさせていただき、当日は丁寧な館内説明と事前質問への回答をいただきました。

私から事前質問は以下の通りであります。

【1. 津波防災センターの概要と設立経緯】

津波防災センターはどのような背景や目的で設立されましたか？
センター設置にあたり、地域住民のニーズや声はどのように反映されましたか？

【2. 防災教育・啓発活動】

学校・住民・企業向けにどのような防災教育や訓練を行っていますか？

展示内容やシミュレーションの工夫点は？実際の津波体験とのギャップをどう補っていますか？

小中学生や高齢者など、世代別にどのようなアプローチをしていますか？

【3. 住民との連携・地域防災体制】

地域住民との防災ネットワーク構築にはどのように取り組んでいますか？

自主防災組織との連携体制や協力事例について教えてください。
ハザードマップや避難所情報の周知徹底はどのように行われていますか？

【4. 設備・施設運営について】

センター運営にかかる年間予算と、その内訳（人件費、維持管理費など）を教えてください。

常駐職員の有無や、行政・民間委託の体制はどうなっていますか？
災害時、津波防災センターはどのような拠点機能を担いますか？
（指令室・避難所など）

【5. 東日本大震災の教訓をどう生かしているか】

東日本大震災の経験が、センター運営や防災教育にどのように反映されていますか？

被災経験者の声を伝える仕組みや、語り部の活用事例があれば教えてください。

成 果 ・ 所 感

【6. 四日市市への応用・連携の可能性】

津波のリスクが比較的低い地域においても、こうしたセンターを設置する意義はあるとお考えですか？

四日市市のような都市部・港湾都市での防災教育に活かせるポイントがあれば教えてください。

他自治体との連携・視察受け入れの実績や工夫があれば教えてください。

【7. その他】

今後の課題や展望について教えてください。

利用者からの評価や改善要望への対応事例はありますか？

回答につきましては、別紙にてご報告させていただきます。

今回、説明をいただいた石垣氏においては、現在は議会事務局職員ではありますが、「塩竈市津波防災センター」設立時の担当職員であったことから、非常に有意義なお話を聞くことができました。当時の職員さんの行動、議会の行動等も教えていただき、当時の臨場感も感じることができました。

今回の視察を通じて学んだことを、しっかりと本市四日市市でも活かせるよう尽力していきたいと思えます。

「塩竈市津波防災センター」への質問事項について(回答)

■1. 津波防災センターの概要と設立経緯

Q:津波防災センターはどのような背景や目的で設立されましたか？

A: 津波などの災害時における避難場所や災害対策活動の拠点、塩竈市営汽船運休時の待機場所となる機能を持つとともに、東日本大震災の体験や教訓を伝承し、市民の防災対策や避難に関する知識や意識を向上することを目的とした建物となります。

※補足

- ・財 源 塩竈市復興交付金事業
- ・事業名 港町地区津波復興拠点整備事業
- ・事業費 2億3,990 万円

Q:センター設置に当たり、地域住民のニーズや声はどのように反映されましたか？

A: 本来であれば、津波防災センターの設置に当たり、地域住民の全体に対して聞き取りやアンケート調査などを行いながら、センターの必要性やニーズなどを確認及び把握しながら進めるべきところですが、本センターは、

「津波発生時にマリゲート塩釜を中心とする防災復興拠点及び交通拠点の機能を維持するための施設として防災拠点施設(公益的施設)と津波避難デッキ(公共施設)を整備する。防災拠点施設は、津波発生時に地区内生活者、来街者、離島生活者などの避難施設とするほか、離島への緊急救援物資輸送の 中核施設としての機能を維持する。また、これら来街者の安全を確保しながら速やかに帰還させる救援サポート機能(帰還のために必要な情報提供などの機能)を有する。津波避難デッキは、津波発生時に地区内生活者、来街者、通行車両の乗車、歩行者などの一次的に緊急避難させる施設とする ほか、ショッピングセンターや防災拠点施設を連結することにより、災害救援物資供給の運搬ルートとして、また、マリゲート塩釜と連結することにより、来街者などの安全な避難及び災害救援、補給を行い、安全に帰還させる施設としての都市機能を維持する。」

という目的で、復興交付金を活用して建設しております。

■2. 防災教育、啓発活動

Q:学校、住民、企業向けにどのような防災教育や訓練を行っていますか？

A: 本市では、毎年6月12日の「みやぎ県民防災の日」に合わせ、塩竈市総合防災訓練を実施しております。

近年では総合防災訓練に合わせ、各小中学校防災主任者(教員)への情報共有を行いながら、小中学生の児童や生徒が防災訓練に参加し、市民と一緒に避難所開設や避難所備品の使い方などの確認をする取組を実施しております。

また、「防災ワークショップ」の開催や、地域住民に対して防災対策や減災などをテーマにした「出前講座」を実施し、震災伝承活動などで防災教育にも尽力しております。

Q:展示内容やシミュレーションの工夫点は？

実際の津波体験とのギャップをどのように補っていますか？

A: 塩竈市津波防災センターでは、発災後一週間に焦点をあて、市民のニーズや避難所などの生活状況の変化を記録・展示しております。

津波浸水シミュレーションがあります。これは令和4年5月に宮城県より津波浸水想定区域の公表があり、その公表を踏まえ、本市における最大浸水深を反映した3つの施設におけるシミュレーション動画があります。

当時の写真や映像をもとに、次の災害に備える方法を考える機会を提供しております。特に東日本大震災後の約1時間後の15:49、海上保安庁の巡視船まつしまが福島県沖で約10mの大波を乗り越える映像を上映しており、津波の恐ろしさを視覚的にとらえられます。

Q:小中学生や高齢者など、世代別にどのようなアプローチをしていますか？

A: 世代別の区分は行わず、適宜アプローチを行っています。

県や市の広報誌や、民間企業提案の広報誌などに掲載しながら集客を行っています。

■3. 住民との連携・地域防災体制

Q:地域住民との防災ネットワーク構築はどのように取り組んでいますか？

A: 自主防災組織を通じて、市内の防災情報を周知しております。しかし、自主防災組織結成率(64.8%、83 団体)が低く、喫緊の課題として組織率向上のため、町内会の防災訓練などに参加し、防災に係る活動の要望確認や、自主防災組織の結成促進などを行っております。

Q:自主防災組織との連携体制や協力事例について教えてください。

A: 令和6年度総合防災訓練に自主防災組織に「炊き出し訓練」の協力を依頼し実施していただきました。また、塩竈の水産練り製品をふんだんに使用したおでんを提供し、防災訓練に参加された市民の皆様から好評頂きました。

Q:ハザードマップや避難所情報の周知徹底はどのように行われていますか？

A: 市民への周知は、令和5年3月に改訂した「塩竈市防災ガイドブック」を活用し、津波によるハザードマップや避難所情報の周知を行っております。改訂に合わせて市内全域に同マップの全戸配布を行い、その後は本市への転入者に対して配布をしながら周知しております。

総合防災訓練の開催時にも、避難経路、避難所などを検討する資料として活用しております。

■4. 設備・施設運営について

Q:センター運営にかかる年間予算と、その内訳(人件費、維持管理費など)を教えてください。

A: 令和6年度予算 津波防災センター運営事業(千円)

節	節名称	予算現額	執行額	内訳
1	1 報酬	4,277,000	3,716,266	会計年度任用職員3名分
2	3 職員手当等 その他の手当	1,605,000	1,355,694	同上
3	4 共済費	1,004,000	816,090	同上
4	8 旅費	360,000	83,840	同上
5	10 需用費 その他の需用費	2,536,000	2,214,461	消耗品、光熱水費など
6	11 役務費	169,000	156,453	電話、インターネット使用料
7	12 委託料	3,763,000	2,796,632	施設維持
8	13 使用料及び賃借料	22,000	20,277	NHK受信料
9	17 備品購入費	33,000	33,000	施設備品購入
	合計	13,769,000	11,192,713	

Q:常駐職員の有無や、行政、民間委託の体制はどうなっていますか？

A: 常駐職員:令和6年度まで3名、令和7年度から2名体制(隔日勤務)

※常駐職員は会計年度任用職員です。正職員はいません。

※民間委託は、清掃・自動ドア・エレベーター・警備・防火設備・電気設備・サイネージ

※令和7年度より、浦戸振興課が同センターで業務することになる。

Q:災害時、津波防災センターはどのような拠点機能を担いますか？(指令室、避難所など)

A: 一時避難所としての機能を担います。また、隣接する「マリングート塩釜」を津波避難ビルと設定し、両建物で1,386名の避難者受け入れを想定しております。

津波防災センター内に備蓄倉庫を備え、食糧や飲料水のほか、毛布、救助用資機材を配備しており、避難しても3日間は耐えられるように準備しております。

その他に、市営汽船が欠航したときは、島民の一時待機場所として活用しております。

※津波防災センターの備蓄品数

アルファ米 約17,000食、水2ℓ 約14,000本、毛布 1,500枚

■5. 東日本大震災の教訓をどう生かしていますか

Q:東日本大震災の経験が、センター運営や防災教育にどのように反映されていますか？

A: 本市は東日本大震災の被災地域であるため、市内小中学校や高校からの伝承活動の要望は多く頂戴しているところです。しかし、市民の皆様の防災意識は高いものの、塩竈市の考え方とのすり合わせが必要とも感じております。自助・共助・公助を正しく啓蒙(けいもう)し、公助の比重のみが大きくならないよう、津波防災センターでのワークショップ開催など、今後も地道な活動を続けていく必要があると感じております。

Q:被災経験者の声を伝える仕組みや、語りべの活動事例があれば教えてください。

A: 津波防災センターの会計年度任用職員として採用している職員の当時の経験談を、語りべ活動として取り入れております。

※職員の経歴

令和6年度まで:元消防署職員・元気象庁職員など、

令和7年度:元海上保安庁・元大学教員

■6. 四日市市への応用・連携の可能性

Q:津波のリスクが比較的低い地域でも、こうしたセンターを設置する意義はあるとお考えですか？

A: 東日本大震災では浦戸側で最大 8.5m、本土側で最大 4.8m の津波が到達し、浦戸・本土含め千件以上の建物が全壊しております。「津波のリスク」をどのように検討されているかで、考え方は変わるかと思えます。近年話題となっている、南海トラフ巨大地震の影響も考慮すべきと考えます。しかし、前述した津波防災センター事業経費が掛かる中で、来館者数が年に数千人程度であることから、設置する意義はあると思えますが、建設費やランニングコストも同時に検討する必要があると感じております。

Q:四日市市のような都市部・港湾都市での防災教育に活かせるポイントがあれば教えてください。

A: 防災教育は、学校や地域のみならず、様々な場や機会を通じて、それぞれが暮らす地域の災害や減災のために事前に必要な準備や知識を備え、自然災害から身や生活環境を守り、被災した場合でもその後の生活を乗り切る能力や知識を学び、他の人々や地域の安全を支えるなどの「生きる力」を向上させるために、本市では、全市民を対象とした総合防災訓練を実施しております。特に、全小中学校も参加し地域住民と一緒に避難所開設訓練や機材の組立て訓練などを行います。また、避難所ではプロジェクターで東日本大震災や防災減災に関する内容を動画で伝え、震災を経験していない若年層にも理解してもらえる工夫をしています。各島でも避難訓練を行っており、島に1校しかない「浦戸小中学校」では、島の避難所場所の他に、津波防災センターへの避難及び引渡し訓練を行うなど、地域に合わせた引渡し訓練を行っております。

※四日市市

・人口 305,503 人(男 153,405 人、女 152,098 人)、146,745 世帯 ※R7.5.1

Q:他自治体との連携・視察受け入れの実績や工夫があれば教えてください。

A: 東日本大震災を通じて全国の自治体より派遣職員の皆様のお力を頂戴しました。その中でも愛知県碧南市、長野県須坂市、兵庫県養父市、岐阜県各務原市と災害協定を結んでおります。また、東北6県のつながりも重視しており、青森県三沢市、秋田県大館市、岩手県花巻市、山形県村山市、福島県喜多方市と災害協定を結んでおります。

視察は全国各地の自治体、議員、小中学校、高校、大学、商工会議所、消防団、企業などが来ております。

■7. その他

Q:今後の課題や展望について教えてください。

A: 高騰する維持費に対しての施設活用の在り方が喫緊の課題となります。いかにして津波防災センターの観覧者を増やし、震災伝承を行っていくか。また、震災から10年以上が過ぎ、展示する内容の風化も進んでおり、現代の防災教育とミックスさせた展示物の検討も必要と感じております。

Q:利用者からの評価や改善要望への対応事例はありますか？

A: 実際に頂戴したお言葉の中で「また来たいと思わせる展示がない」という言葉が印象深いです。震災をテーマにしつつ、どのように観覧者を呼び込むか、検討する必要があります。

（ 調査研究、研修、要請・陳情活動、会議 ） 報告書

令和7年 5月 29日

実 施 日 時	令和7年 5月 27日（火） 10時00分 ～ 11時30分
参 加 者 氏 名	谷口周司 石川善己 辻 裕登
用 務 先	多賀城市立図書館
対 応 者	多賀城市 教育委員会事務局 生涯学習課生涯学習係 主事 佐藤崇晶 氏 生涯学習課生涯学習係 主事 佐藤佑哉 氏 議会事務局 局長補佐兼総務係長 武田謙司 氏
目 的 ・ 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・官民連携の運営体制について ・10年が経過しての課題認識について ・今後の展望について
成 果 ・ 所 感	<p>今回は、多賀城市にお伺いをさせていただき、「多賀城市立図書館」について、学ばせていただきました。</p> <p>説明、対応していただいたのは、多賀城市の教育委員会事務局生涯学習課生涯学習係：佐藤崇晶氏、同主事：佐藤佑哉氏にお世話になりました。館内を案内いただいた佐藤氏は、図書館司書免許もお持ちであり、非常に丁寧な説明と図書館の核心に迫る話も聞くことができ、有意義な時間となりました。</p> <p>私は以前にも「多賀城市立図書館」にはお邪魔をさせていただいておりましたので、今回は以前とは違った目線での学びとなりました。事前に質問事項もお送りをさせていただき、丁寧な説明と回答をいただきましたので、ご報告をさせていただきます。</p>

成 果 ・ 所 感

【1. 官民連携・運営体制について】

Q: どのような官民連携スキームで運営されていますか？

A: 多賀城市立図書館は「指定管理者制度」を活用して、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（CCC）に運営を委託しています。市が施設の所有と基本方針を担い、CCCが企画・運営を担当する形です。

Q: 市とCCCの役割分担や契約形態について教えてください。

A: 市は予算管理、行政としての指導・監督、基本的な利用ルールの設定を担当。CCCは、図書選書、施設運営（カフェ・書店含む）、イベント企画、人材配置などの現場運営を行っています。契約は公募による指定管理契約で、複数年更新制です。

Q: 指定管理者制度を導入した理由と、導入前後の変化は？

A: 従来の図書館では来館者数の伸び悩みが課題でした。指定管理により民間のノウハウを導入し、図書館を「本を借りる場」から「人が集まる場」へと転換。実際、開館後は来館者・貸出冊数ともに増加しました。

Q: 民間連携において重視している点は？

A: 公共性の担保（特定の思想や営利活動に偏らない中立性）、情報公開、市民ニーズの把握と反映です。契約内容や実績についても、議会や市民に説明責任を果たしています。

【2. 図書館の利用状況・利用者の反応】

Q: 来館者数や貸出冊数の傾向は？

A: 開館直後は話題性もあり急増。その後は落ち着いたが、従来型図書館と比べて高水準を維持しています。特に市外からの来館者も多いのが特徴です。

Q: 特定層に向けた利用促進策は？

A: 子ども向け：おはなし会、絵本の読み聞かせ、親子向けワークショップ

高齢者：健康づくり講座、タブレット講習

学生：自習スペースの開放、学習支援イベント（試験対策など）

Q: 利用者の声の収集と運営への反映方法は？

A: 館内アンケート、SNS・WEBフォームでの意見収集、CCCスタッフとの日常的な対話により市民の声を把握。定期的に市とCCCが協議を行い、改善につなげています。

【3. 図書館の役割・機能の拡張について】

Q: カフェや書店、ワークスペースの相乗効果は？

A: 来館の動機が「本を借りに来る」以外にも広がり、滞在時間の延長や多世代の利用が増加。「ついでに本を読む」「待ち時間に読書」という新しい利用スタイルを生み出しました。

Q: 地域イベントや市民活動との連携事例は？

A: 地元のNPOや学校との協働イベント、音楽ライブ、ビジネスセミナー、地元作家とのトークイベントなど。図書館を拠点に市民主体の活動も増加しています。

Q: 「にぎわい拠点」としての工夫や方針は？

A: 「本と人、人と人をつなぐ場」として、図書だけでなく交流・学び・創造の場を提供。内装デザインも開放的で居心地の良さを意識し、滞在を促す工夫をしています。

【4. 教育・文化振興との関わり】

Q: 教育機関との連携は？

A: 市内の小中学校と連携し、図書館見学や調べ学習支援、読書感想文の書き方講座などを実施。学校図書館との資料共有や人的交流も一部行っています。

【5. 課題や反省点について】

Q: 開館からの課題と改善点は？

A: 初期は「商業施設のように公共性が薄い」との批判も。市民説明を重ね、図書の充実やイベントの多様化で信頼を得るよう努めました。利用者ニーズが多様で、すべてに応える難しさもあります。

Q: 民間協働で特に配慮すべき点や市民の懸念は？

A: 特定の出版社・商品への偏り、図書選書の透明性、高齢者やネットを使えない層への情報格差、市民説明会や運営会議に市民を参加させるなど、透明性確保に努めています。

【6. 四日市市への応用可能性について】

Q: 多賀城市のような図書館を導入する際の留意点は？

A: 市民ニーズの事前調査が不可欠

商業性とのバランス（図書館の本質を失わないこと）

地域資源との連携（地元企業、NPO、学校など）

維持費や事業評価の仕組みづくりも重要

Q: 地方都市における官民連携図書館の成功のカギは？

A: 市民の理解と参加、民間事業者の柔軟な企画力、市による公共性の監視と支援、図書館を「利用する場」から「関わる場」へと進化させる視点

今回の視察では、私自身が様々な項目について質問をしたく、事前に質問書を送り、その回答も交えて丁寧な説明をいただきました。館内をめぐりながらの質問にも丁寧に回答をいただき、いかに市としても、この図書館を重要な施設として捉えているのかについても学ぶことができました。

今後、四日市市での議論に活かしていければと思います。

成 果 ・ 所 感

内 訳 明 細

2025年5月分 No. 8

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費		
研 修 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費	35,692	コピー費・コピーリース費
合 計	35,692	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

新風創志会

新風創志会 御中

発行日 2025年05月09日

領収証番号 0000001534



領収証

毎々格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
下記金額を正に領収させていただきますこと、お知らせ申し上げます。

東京都港区東新橋1丁目5番2号

印紙税申告納
付につき随町
税務署承認済

領収日	2025年 5月 7日
領収額	21,516 円

お支払方法	口座振替
振替口座	三十三銀行 四日市市役所内支店 普通 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 ヨツカイチシキカイ シンフ・ウソウシカイ タツエイヨウ イシカワヨシキ

領収明細書

契約番号	請求期間	回数	金額	消費税等
A070842927-000	25. 4. 1~26. 3. 31	1	19560	1956

続きは裏面をご覧ください。

RICOH

領收証

発行日 2025年 5月27日
領收証No. BAK838

新風創志会 様

いつもリコー商品をご愛顧いただきましてありがとうございます。
2025年 5月20日にお支払いいただきました代金の領収証を
お送りいたしますのでご査収ください。

領収種別	自振
金額	¥14,176
但し、商品代として	

印紙税申告納
付につき大森
税務署承認済

（お問合わせ）
リコージャパン株式会社
東京都大田区中馬込一丁目
部 門 請求書お問い合わせ窓口
TEL 0120-611-099

※当社ではこのフォームでの領収証には、黒色の印鑑を使用しております。
※金額等を訂正したものは無効とします。
※再発行は出来ませんので、大切に保管願います。
※入金取消し等の連絡があった場合、本領収証は無効となります。



